

科目名	芸術活動をととした多様性協働プロジェクト
担当者名	山野靖博、中原和樹

【科目の目的】

自立した個人として他の個人と向き合い、対話し、それぞれの立場と役割を受け入れ合うことで、独りでは到達し得ない演劇創作を体験することを目指す。

その為に、自己の内省と他者への開示、他者の受け入れを軸として、表面上ではない深い対話を進めていく。社会的レイヤーから切り離された、人間同士としての交流と繋がりを構築することが必要となり、自分も生き、相手も生きるという道を探求し、自身の観点を広げ、鋭く成長させる。

(学士基盤力)

自然・社会・文化理解、想像力・表現力、実践力・問題解決力、人間関係形成力、自己学修力、地域・国際コミットメント力

【到達目標】

(知識・理解)

(思考・判断・表現)

自身の考えを持ち、開示し、その上で他者の考えを受け入れることで、創造的な対話を行うことが出来る。

自分自身を主観的・客観的の両面で捉えることが出来、自己についての発見を行うことで、自身の価値観を広げ、世界と社会への新たな見方を身につけることが出来る。

(態度・志向性)

「文化とは何か」という根源的な問いへの興味が生まれ、そこから共生・多様性への理解、関心が広がる。

演劇創作体験を通じて人間そのものへの考えが深まり、より多角的に人間を捉え、表層的ではないコミュニケーションへの認識を強くする。

人や出来事に対して受動的に待つのではなく、失敗や間違いを恐れず能動的に関わり、そこから自身の思考と行動により学びを得ていくことが出来る。

【授業内容】

第1回 (5/15 月) オリエンテーション / ワークショップ① (他者と場を知り、遊び心を見つけてみる)

第2回 (5/15 月) ワークショップ② (演劇とは? 演じるとは? 劇場とは?)

第3回 (6/19 月) 冒険① (作品創作のためのスケッチ・リサーチ)

第4回 (6/19 月) 冒険② (作品創作のためのスケッチ・リサーチ)

第5回 (7/10 月) ディスカッション① (スケッチ・リサーチを物語の断片化する)

第6回 (7/10 月) ディスカッション② (物語の断片に各々の文化的背景を染み込ませる)

第7回 (10/2 月) 演劇稽古① (テキスト化した物語の読み合わせ)

第8回 (10/2 月) 演劇稽古② (身体と自由な発想でシーンを組み立てていく)

第9回 (11/13 月) 演劇稽古③ (オリジナルアイディアの持ち寄りを作品に入れ込む)

第10回 (11/13 月) 演劇稽古④ (物語全体を通じての核と対象を再認識する)

第11回 (12/11 月) 演劇稽古⑤ (各役割におけるのこだわりを発揮する)

第12回 (12/11 月) 最終通し稽古とブラッシュアップ

第13回 (12/16 土) 演劇発表/本番に向けた準備・リハーサル

第14回 (12/16 土) 演劇発表/本番

第15回 (12/16 土) まとめ、総括

(授業外の学修)

・各回の前の回 (第2, 4, 6, 8, 10, 12回) において、次回までに創作を進めるべきプロセスと課題を渡すので、それをクリアした状態で各回に臨むこと。

・第6回の終わりに、それまでの創作をテキスト化する課題を渡すので、指示に従って提出すること。

・第15回の終わりに、気づき・発見となった事柄を自由記述で提出してもらう。

【教育方法】

アクティブ・ラーニングを取り入れ、全て実践・実習形式で行う。
学生主体によるディスカッション・対話をもとに進めていく。
最後に演劇発表を行う。

（実務経験のある教員による教育方法）

教員の実務：演出家・脚本家（演出者協会会員、山梨県立県民文化ホールアーティストックアドバイザー）
俳優・歌唱指導（東京芸術大学音楽学部声楽科バス専攻卒業、帝劇・日生劇場・シアタークリエ等で出演）
教育方法：実際のワークショップのファシリテートと、演劇の稽古の開催。演劇の創作過程において各参加者が自主的に関わられる場作りと促しを行う。
演劇的・芸術的な観点で作品が創作されるために、学生と協働し、向かう方向性を具体化していく。

【評価方法】

（知識・理解）

（思考・判断・表現）

授業内での関わり方・積極性など（30%）全15回終了時の自由記述（30%）

（態度・志向性）

授業内での関わり方・積極性など（20%）全15回終了時の自由記述（20%）

【必携図書】

なし

【参考図書】

なし

【履修上の注意】

- ・本科目は、次の時間帯と場所で実施する。
5/15～12/11 16:30～19:40 山梨県立大学池田キャンパス
12/16 13:10～18:00 山梨県立大学飯田キャンパス
- ・身体を動かすことも多いため、動きやすい服装で受講すること。

【履修者へのメッセージ】

ますます複雑化していく社会において、他者と深く対話し、道筋を切り開く創造性は必須の力となっていきます。
指示通りに演じることが重要なことではなく、うまく演じることが同じく重要ではありません。
他者と関わり、交流し、繋がり、分かち合うこと。感性を開き、飛び込むこと。
これらを楽しみながら、多様なメンバーで旅に出ましょう。きっと途中にも、そして最後にも素敵な景色が見られると思います。